



TITLE:

獨身者ノ組合運動

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

CITATION:

神戸, 正雄. 獨身者ノ組合運動. 經濟論叢 1915, 1(3): 470-472

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126889>

RIGHT:

京都帝國大學法學大

經濟論叢

第三號

第一卷

論說

●染料藥品生產獎勵制度

●經濟學認識論ノ若干問題(二)

●營業利益課稅新案

●貧富問題(三)

雜錄

●官業整理ト財政

●南洋新占領やつぶ島研究
地研究ノ一

●享保年間ノ米價調節(二)

●收益遞減ノ法則ノ擴張

雜報

●獨逸ノ戰時經濟組織

●獨逸經濟ノ軍國主義化

●佛蘭西ノ農產擔保貸付法

●近時米國ニ於ケル婦人ノ職業ノ變遷

●獨身者ノ組合運動

●收穫ノ増減ト價格ノ變動

●すまゝと教授逝ク

法學博士 戸田 海市

法學博士 左右田喜一郎

法學博士 神戶 正雄

法學博士 田島 錦治

法學博士 小川 郷太郎

助教授 山本美越乃

法學士 本庄榮治郎

法學博士 河上 肇

法學博士 神戶 正雄

法學博士 小川 郷太郎

助教授 河田 嗣郎

法學博士 河上 肇

法學博士 神戶 正雄

講師 高田 保馬

法學博士 河上 肇

獨身者ノ組合運動

法學博士 神戸 正雄

世ノ中ガ進ムト結婚ガ遅レル、不婚者ガ多クナル。獨身者ガ増シテ來ル。生活難トイフ經濟上ノ原因ニモヨルガ、特段ナル智識及道德上ノ變化ニモヨル。獨逸ノ調ニ依ルト、全國デハ十ノ家計ニ就イテ一ノ間借者ガアリ、伯林ヤはんぶるヒヤ其他ノ大商工業市デハ四又ハ五ノ家計ニ一ノ間借者ガアル勘定デアル。中ニハ學生ノ如キ獨立生活能力ナキ間借者モアルガ、大多數ハ獨立生活能力アル者デ、男モアレバ女モアル。稀ニハ夫婦者モアルガ、獨身者ガ多い。日本デモ追々此現象ガ顯著トナルデアラウ。其ガ大勢デアル。生活難ノ爲メ獨身デ居ル者ハ如何ニモ氣ノ毒デアルガ、經濟上ハ結婚シ得ルニ拘ラス我儘ナ者カラ獨身デ居ル者ハ、社會ノ風教上宜シカラザ

雜 報

ル事ヲ爲スモノデアリ、民族競爭トカ國家競爭トカノ基礎ヲ強固ニスルトイフ點ヨリイフテモ、世界人類ノ爲メニ健全有益ナル文化ヲ普及スルトイフ點カライフテモ宜シクナイ。獨身デ居テ品行方正ナルコトガ出來レバマダ良イガ、此ガ普通ノ人間ニハ出來ス。所詮獨身者ハ道德ヲ養ルコトニナル。獨身者ガ品行ノ上ニ穢レタルコトノナイコトガ出來テモ、子孫ノ繁殖ヲ計ラヌコトニ於テ矢張り責任ヲ全フシテ居ラス非難ヲ免レス。(尤モ不良ナル疾病等ヲ有スル者ハ結婚スルコトガ罪惡)此等ノ點ハ教育ニヨリテ十分明ニシ、心得違ノナキヤウニスルコトガ肝要デアル。ガ所詮世ノ中ガ進ムニ從ヒ獨身者ノ増スコトハ避ケラレス。デ切メテ彼等ノ經濟上ノ地位ヲ進メ彼等ノ道德上ノ狀態ヲ直ホスコトガ出來レバ、彼等ノ中カラ結婚者ノ群ヘ仲間替スルモノモ出來ヤウシ、少クトモ彼等ノ社會ニ及ホス弊害ヲ減少スルコトガ出來ヤウ。之ニハ單ニ教育ヤ獨身寄宿舍制ノミデハ足ラス。彼等ノ自助的ノ組合運動ニヨルコトヲモ必要トス

ル。尤モ單ナル教育ヤ、公益的ノ獨身者宿舍制度ニ止マツテ居レバ、獨身者カ結婚者ニ移行ク可能モアルガ、斯ク組合的運動ヲ初ムルコトトナルト、獨身者ニ甘ンスルコトニナル嫌ハアル。併シ其他ニ於ケル彼等ノ弊害ハ匡正サルコトガ出來ル。

一體、從來ノ購買組合ヤ建築組合等ハ専ラ既婚者ノ爲メニ利用セラレテ、獨身者ニ及バナカツタ。獨身者ハ從來、貸間主ヤ飲食店主ヤ生活材料供給者カラ不當ナ暴利ヲ食ラレテ居タモノデアル。之ヲ自助的組合ノ力デ救済スルコトヲ考ヘタノハ瑞西ノわいどりんぐデ、先ツ獨身者ノ爲メニ組合的ノ飲食所ヲ建テ、勞働者教化協會ト聯絡シテ活動シタ、二年許前カラ之ガ獨逸ニ移リ、獨逸ノ組合的教化協會(有名ナル故えるんす)とあつて協會ヨリ發達シタルモノ)ノ會員ガ發起デ、獨身者組合トイフガ出來テ、先ツみゆんへんニ初マリ、幾多ノ困難ニ打勝ツテ、食事所ノ經營及ビ其他ノ生活材料ノ供給ヲ行ツタ。續

るひノハ組合的教化協會トハ關係ヲ絶ツテ居ル。之ガ創立者ハ初メヨリ獨身者組合ノ獨立ヲ理想トシ、此組合運動ガ段々組合的教化協會トハ縁ヲ薄クスルコトナリ、丁度此度ノ大戰爭前ニハ此等ノ獨身者組合ノ爲メニ一ノ中央會ヲ設ケ及ヒ一ノ雜誌ヲ發行スルマデノ計畫ガ進行シテ居タ。尙ホ進ンデハ集會所及圖書館ヲ立テ田園都市的ノ獨身者住所ヲ設ケ、更ニハ需要品ノ組合的生産ヲモ計畫シテ居ツタ。此レデ獨身者ノ經濟狀態ヲ進メ、尙ホ其上ニモ精神上ノ慰安ヲ與エ、道德上ノ向上ヲモ遂ゲシメヤウトイフノデアル。此事業ニ於テ初メカラ最心配サレタノハ、獨身者ハ尻カ落着カヌカラ組合事業ニハ不適當トイフコトデアツタガ、其ガ却ツテ彼等ヲシテ尻ヲ落着カシムルコトニナツテ豫想外ノ好結果デアツタトイフコトデアル。此運動ニハ見逃ガスヘカラザル弊害モアルガ、利益モアル。獨身者ヲ結婚者トスル爲メノ教育事業ダケデ達セラレヌ所ハ、矢張り不満足ナガラモ此種ノ組合事業ニヨリテ幾分ナリトモ弊害ヲ少クス

ルノ外ハナカラウ。日本ニモ追々此種ノモノ
起ルデアラウ。